

会員各位

ユニシス研究会 中部支部

2021年度 研究活動 【中部支部】参加者募集のご案内

拝啓 日頃よりユニシス研究会活動にご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

会員各位におかれましては昨年からの新型コロナウイルス感染予防対策と共に日々の活動を制限される中、業務遂行されていることと存じます。

ユニシス研究会では、会員の皆様が日常業務の中で抱えている課題等を研究テーマとし、テーマに関する知見を取得するのみに留まらず、課題を克服すべく仮説を立て検証し、活動成果を報告書として取り纏め発表していただきます。

昨年度は新型コロナウイルス感染予防のため、オンライン会議での活動を強いられましたが、オンライン会議ならではの“いつ、どこでも会話できる”環境を生かし取り組む事ができ、たいへんな盛り上がりの中、中部2Gは「チャレンジ賞」を受賞できました。

今年度も、昨年度同様にオンライン会議を主体とした非対面型の活動を中心とながら、可能な範囲で対面での活動を取り入れることができればと考えております。

従来同様に企業の枠を超えた「異業種交流」「人材育成」の場として是非活用いただきたく、下記要領にて活動参加お申し込みをお待ち申し上げます。

敬具

1. 研究テーマ

ご応募いただく研究テーマは案内メールに添付されている、
【2021年度(R3)研究活動テーマ(中部支部).pdf】をご覧ください。

2. 参加資格

ユニシス研究会会員企業（会員企業の方であればどなたもご参加いただけます）
リーダー・担当者クラスの方々を広く募集します。

3. 参加費用

- ①本年度研究活動費として1企業あたり ¥20,000 を申し受けます。
 - * 参加人数に係わらず、1企業あたり ¥20,000
 - * 参加メンバー確定後、「連絡責任者」へご請求させていただきます。
尚、請求書送付先が連絡責任者と異なる場合は申し込みの際に連絡欄にご記入願います。
- ②活動のための交通費、通信費など経費は参加者負担とさせていただきます。

4. 申し込み方法

以下いずれかの方法でお申し込みください。

- ① Excelファイルに記載してメールでご返信
添付の【2021年度(R3)中部研究活動参加申込書(EXCEL版).xlsx】
を入力後、パスワードを付けて送信願います。
- ② 巻末の申込書を印刷いただき、記載後の文書をメールかFAXで
送付願います。
メールの場合はお手数ですが、（圧縮などでの）送付時の暗号化を
施して送信願います。

⇒ **期限：2021年5月25日（火）17：00迄**

5. 研究活動の運営について

- ①研究活動のチームは1チーム5名～7名程度として編成します。
*期限内に定員に満たない場合、第2希望のテーマでの研究活動をお願い
することがありますので予めご了承ください。
また、中部支部内で定員に満たない等の場合、他支部のテーマ/チーム
との編成について相談させていただく事もございます。
*異業種交流の観点からも同じテーマに同じ会員企業様が多くならない様に
調整もさせていただきますのでご理解の程お願いいたします。
- ②主体はご参加いただく皆様です。
基本的にはグループに参加された方の自主活動で、日中の業務時間内での
会議が中心となりますのでご了承ください。また、日本ユニシスグループも
アドバイザーとして皆様の活動を支援いたします。

6. 活動期間と会合回数

- ①本年5月より2月末まで（発表会を除く）研究活動でグループにより差が
ありますが、日中の通常業務時間内でグループ単位にて調整いただく会合
として月2回程度の会合を見込みます。
活動のテーマにもあるような「働き方改革」ではありませんが、活動自体は
回数、時間を多く費やすことは決して良いことではありません。
ご自分の業務に支障をきたす活動は本来の活動の形ではありません。
ご参加いただいた皆様も限られた時間の中で効率よく活動を行っていただき
ますよう、予めご理解いただきご参加いただきますようお願いいたします。
- ②中部支部で成立したグループの第1回目の活動については、発足を兼ねて
5月27日（木）午後オンライン会議（会合）を行います。
詳細は参加申し込みをいただいた方に別途E-mailなどでご案内いたします。
年間の主な活動スケジュールは巻末に掲載していますのでご確認願います。

7. お問い合わせ先

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄1-3-3朝日会館
日本ユニシス（株）ユニシス研究会 中部支部事務局 （担当：黒宮<カミヤ>）
TEL：050-3132-4896 / E-mail：juua-chbnul-info@ml.unisys.co.jp

8. その他

ご報告（発表資料含む）いただいた研究活動成果（研究活動活動報告書、プレゼン資料等）の著作権は著者に帰属いたしますが、著者はユニシス研究会が主幹する「機関誌など刊行物掲載」、「WEBサイトへの掲載」など、ユニシス研究会としての研究活動成果配布に係わる一切の権利（個人名・会社名・所属先の公開を含む）をユニシス研究会に無償で許諾するものとします。

《主な活動スケジュール（状況により変更、中止になる場合があります）》

5月27日（木） 発足会 および 第1回活動 Zoom オンライン会議にて実施

事務局からチーム編成、今後の計画などについて説明いたします。
その後、チーム毎でメンバー内で自己紹介・今後の進め方・次回会合日程決めなどを話し合ってください。

7月16日（金）～17日（土） 中部グループの合同合宿 静岡 伊東市

日本ユニシスの施設「伊豆エグゼクティブセンター」にて2日間の集中合宿を行います。本合宿の最後にはそこまでの研究活動の状況をプレ発表する場を設けており、他のグループと意見交換を行います。

*新型コロナウイルス感染状況により中止となる場合があります

9～10月頃 全国 中間報告会

研究テーマに対する知識や技術を具体的な課題を解決する為に、仮説を立て今後のアプローチ・方向性をグループ内でしっかり議論してその内容をご報告いただきます。
(詳細は別途リーダー・サブリーダー確定後ご案内いたします。)

12月中旬 中部支部内 報告書 進捗説明会

報告書の内容の精度を上げるために、第三者(出来れば研究活動経験者)などに説明して、矛盾など指摘いただきます。重要な場です。

1月末 研究活動報告書 提出期限

提出された後、研究活動運営委員の皆様により、活動報告書の表現力・構成力のもとより、汎用性・有効性・独創性・独自性を考慮して査読審査をさせていただきます。最後に報告書の評価点がつけられます。3月に行う発表会の評価点とあわせて入賞チームが決まります。

2月央 中部支部内 研究活動（練習）発表会

全国研究活動の発表会に向けて、中部支部内で独自の発表会を行います。発表会には他グループとか参加された方から、感想意見をいただきますので、それを受けて発表方法・発表資料の質向上を図れればと思います。

2月末 研究活動発表資料 提出期限

3月4日（金）全国グループ研究活動 発表会

中部で行った発表の経験を生かし発表することになります。全国各支部グループの発表は発表資料含めての発表の評価点が審査委員によって厳正につけられます。最後に先に提出した報告書の評価点とあわせて入賞チームが選ばれます。特に優れた成果を残したグループには、ユニシス研究会で最も栄誉のある『エッカート賞』候補としても推薦されます。

2021年度研究活動 活動テーマ募集一覧

候補番号	キーワード	募集対象	テーマタイトル(案)	活動内容(案)
1	5G	ユーザー企業の 情報システム部門 企画部門	5G/ローカル5G	5G対応のスマートフォンが各社から出揃ってきているが、5G対応スマートフォンを利用した新しいビジネスの研究だけでなく、ローカル5Gを利用した会社単位での新しい情報システム基盤の研究についても研究対象とする。
2	afterコロナでの働き方	情報システム部門 事業部門 人材育成部門	afterコロナで 業務はどう変わる？	beforeコロナでは、集約での業務スタイルが中心。withコロナで、在宅勤務が加速。afterコロナでは？それぞれのメリット、デメリットから、新しいビジネススタイル、メリット、注意点、環境など、会社/個人に最適且つ効率的な新しい姿を考え、実践に活用する。
3	eスポーツ	IT企画部門の管理者・ 担当者、事業部門	eスポーツによる地域創生	新たなスポーツとして注目されている「e-スポーツ」。異業種参入などこれから大きなビジネスチャンスになっていく分野として注目されている「e-スポーツ」をテーマに、具体的に分野を取り上げて実現までに至るアイデアを研究する。
4	DevOps NoOps (デブオプス ノーオプス)	IT企業のSE ユーザー企業の 情報システム部門	新しい開発と運用の姿	開発プロセスは、早期稼働、低コストを目的に、ウォーターフォール型から、大きく変化している。一方、運用プロセスにおいては、開発・運用の分離を基本とし、開発プロセスの進化に追いついていない。DevOps、NoOpsを実現する上で、どのような体制、プロジェクトの進め方が必要となるかを検討する。
5	ICTによる地域経済活性化	ユーザー企業の 情報システム部門	地域の企業とICT	地域経済の活性化のため、ICTがどのような役割を果たし得るかを分析し、可能性を整理する。企業へのアンケート調査の結果や企業の先進的なICT利活用事例の分析を通じて、地域経済活性化に資する企業での実効的なICT利活用の在り方を検証する。
6	コネクテッドカー (ICT端末機能を有する自動車)	ユーザー企業の 情報システム部門	コネクテッドカーの登場で 世界はどう変わる？	ICT端末としての機能を有する自動車をコネクテッドカーと呼び、車両の状態や周囲の道路状況などの様々なデータをセンサーにより取得し、ネットワークを介して集積・分析することで、新たな価値を生み出すことが期待されています。デジタル化、コネクテッドカーの普及は、自動車運転の安全性や利便性の向上に資するとともに、車のICT化を推し進め、自動運転実現への動きを加速することが想定される。社会や私たちの暮らしはどんなふうに変わるのかを検討する。